

ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年10月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 国民の信を問え！ 社会保障拡充へ転換を！

臨時国会開会日 宣伝行動

10月29日、臨時国会が開かれましたが、この日の昼、道社保協、国民大運動実行委員会、消費税廃止連絡会が、宣伝行動を行いました。

国民生活は厳しさを増しています。しかし、政府の検討会では、高齢者窓口医療費の2倍化、介護保険利用料の3倍化、「軽介護者」の保険外し、生活保護の改悪など、提案しています。

一刻も早く、国民の願いに反して決められた「社会保障解体法と消費税増税」はやめさせ、雇用の確保、社会保障改善、景気回復が求められます。「国会を解散して国民の信を問え！法人税減税と大型公共事業のための消費税増税はやめろ」「社会保障の改悪はやめて、大企業や富裕層の負担で、社会保障の拡充と雇用の確保を」と訴えました。



## 松山 社保協準備会が「消費税と社会保障」学習会



10月24日、江差町で、松山地域の社会保障推進協議会準備会が、道社保協の事務局長を講師に、学習会「消費税と社会保障」を開きました。江差町をはじめ、上ノ国町や乙部町などからも参加し43名が集まりました。

学習会では、「高い介護保険料をどうしたら下げられるか」「選挙で社会保障拡充を求める勢力を前進させるためにはどうしたらよいか」などの質問もいただきました。

準備会では、江差町、上ノ国町、乙部町、厚沢部町などで社保協の結成に向けて話し合いをすすめています。

## 根室 介護、孤立死予防と生活保護問題などで市と懇談

10月24日、根室社保協は、根室市と介護、孤立死予防と生活保護問題で懇談しました。同会は、9月5日、市に対して「医療・介護・福祉に関わる施策についての要望書」を提出し、市との懇談は9月の国保問題に続いて2回目です。

「介護手当の支給」については「介護保険制度ができた時廃止したが、要介護4.5を自宅で介護している本人も家族も非課税の世帯に月額8300円の介護給付券を支給している」と回答。「介護利用料軽減の拡充」については、「現在の訪問介護の軽減は43%が利用し363万円支給。サービスの軽減も検討したが800万円になり、一般財源などからの支出が必要」と答えました。孤立死問題では「白石区のような事件はあってはならないと認識している」。生活保護では「申請権の侵害する事態はないか」とだし、扶養義務問題では「所得を調べたり、負担の強制はできないし、してない」、「来年度はケースワークを1名増やし、きめ細かい対応ができるようにする」と答えました。

## 11.1「三井厚生労働大臣へひとこと言いに行こう」行動

ご存知のように、北海道選出の三井わき雄議員が厚生労働大臣になりました。地元事務所を訪問し、医療・介護・年金・保育・生活保護など、社会保障を改悪せずに改善してほしいと要望します。

(11月1日14:00～)



## 11月2日 昼 勤医労中心に宣伝署名行動 参加しましょう！

時間は13:00～13:30 場所は紀伊国屋書店札幌本店です。

尚、北海道勤医労は、11月1日(木) 「消費税増税、社会保障改悪実施するな！」をテーマに「早朝タームミル宣伝」を行います。

